

T S I ホールディングス

来期からブランド！ 業態開発を積極化

SSC向けは「スポーツ」で

T S Iホールディングスは来期（14年2月期）から、新ブランド・新業態開発を積極化する。サンエー・インターナショナルとして、スポーツをテーマにしたメンズ・レディス・キッズのブランドを主にSSC向けに来春から出し、百貨店や駅ビル・ファッションビル向けに複数の新ブランド・業態を立ち上げる。今期は業績が悪化した東京スタイルで不採算ブランド・売りの場の整理を軸にした構造改革を進めて収益改善を最優先させ、来期から「本格的な攻めに転じ、事業領域を拡大する」（廣瀬啓二取締役営業本部長兼サンエー・インターナショナル専務営業本部長）という。

来期は4、5の新ブランド・業態開発を計画する。メンズ・レディス・キッズの新ブランドは「スポーツとファッションを融合したライフスタイル提案型業態」として提案する。スポーツの分野は「マルチ型の提案では中途半端になり、失敗する」として、一つに絞る込む。店舗面積は132平方メートル

前後の予定で、SSCを中心に、駅ビルなどにも出店する。このブランドはサンエー・インターとして開発するが、それ以外のブランドはT S I、東京スタイルとして出すことも検討している。「T S Iの力を結集して、新たな事業開発につなげたい」とする。

既存の主力ブランドは「拡大すべき流通」と位置付ける郊外・都市近郊のSSCへの出店を積極化する。サンエー・インターが運営する生活雑貨主力の「キヤス・キッドソン」は今春夏に7店出して、計24店とした。秋以降も出店を加速する。東京スタイルグループのブランドでも来春以降、SSCへの出店を強める。

パーキングエリア（PA）、駅ナカや空港を中心としたトラフィックチャンネルに向けた業態開発を進める。サンエー・インターの子会社、フリーズ・インターナショナルが4月、新東

名高速道路の清水PA内の商業施設「ネオパーク清水」にキヤス・キッドソンと「フリーズショップ」の商品を軸にした新業態「FR・フリーズショップ・ドライブイン」を開設した。「売りの上げは順調で、攻めるべき流通であることを実感した」とし、事業運営ノウハウを積み上げて、他のSAにも出店し、駅ナカや空港向けの業態開発につなげる。

T S Iは今期から中期経営計画を開始、最終年度である15年2月期に連結売上高2200億円（前期1478億円）、営業利益50億円（営業損失69億円）を目標とする。

国内事業は最終年度に既存販路（百貨店、駅ビル・ファッションビルを含むSSC）の売上高を1600億円（前期実績1143億円）、ネットや駅ナカを中心とした新規販路の売上高を250億円（100億円）とする計画だ。